

# ありがとうファンド

(愛称:『ファンドの宝石箱』)

◆ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資することを基本とします。 運用方針としては、経済の変動のダイナミズムを先取りしたアセットアロケーションを前提にファンドの組成に取り組む方針を一貫して行います。
主要運用対象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限は設けません。 ②株式への直接投資は行いません。 ③同一銘柄の投資信託証券への投資は、原則として信託財産の純資産総額の 50% 未満とします。
分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。(分配を行わないこともあります。) 分配金は税引後自動的に全額再投資されます。

※当ファンドは課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 第 11 期 運用報告書 (全体版)

(決算日 2015 年 8 月 31 日)

### ●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、皆様の「ありがとうファンド」は、2015 年 8 月 31 日に第 11 期の決算を行いました。第 11 期も当ファンドは、長期的な信託財産の成長を目指し、景気変動サイクルを先取りする運用を行って参りました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。



東京都台東区上野 3 丁目 19 番 4 号 サカイビル  
<http://www.39asset.co.jp>

### ◆お問合せ先

ありがとう投信株式会社

TEL. **0800-888-3900**(フリーCall: 携帯電話は除く)

または **03-5807-9710**

受付時間8:30~17:30 (土日祝日を除く)

## お客様へのメッセージ

### 岡 大(代表取締役)

昨期までの10年間では何度も大波にもまれ、皆さまにご心配をおかけする場面もありましたが、それでもとても多くの方々にこのファンドにご一緒していただき、おかげさまで長期投資の確かな礎を築くことができました。本当にありがとうございます。

その礎の上に重ねる新しい decade のスタートとなった今期、一段の飛躍を目指して努力してまいりましたが、そうした強みをまだ十分に生かせていない、残念ながら皆さまのご期待に届いていない、そう感じています。

そこで今、私たちは『進化』を合言葉に、ファンドの運用はもちろんのこと、様々なポイントにおいて変革を進めています。今後少しずつ、皆さまにもハッキリと、ファンドのみならず会社自体の『進化』も感じていただけるようになるはずです。

もちろん、いつでもお客さまのことを第一に考える、そうした基本を変えることは決してありません。私たちはこれからも、皆さまと意思をともに進んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

### 川元 由喜子(ファンドマネージャー)

長い間、世界の中で日本だけがデフレで超低金利で低成長、という状態に慣らされてきましたが、この数年で様子がかかなり変わってきたように思います。債務問題を抱えながら金融緩和を続けるヨーロッパ。そして気が付けば、高成長で世界を引っ張ってきた中国までも、何だか状況が似てきました。どこもデフレに陥ったとまでは行きませんが、物価上昇圧力が、急速に弱まっているように感じます。

デフレからの脱却を目指している日本経済にとって、確かにあまり良い条件とは言えないでしょう。しかし、デフレに陥る道のりも一人旅でした。逆方向に進む道も一人旅、ということがあっておかしくはありません。これからしばらくの日本経済を特徴づける条件は、急速に進む高齢化、それに伴う労働力不足であろうと思います。物価上昇の源もここにありそうです。

金利が上がってくる日も訪れるでしょう。企業であれば、低金利に慣れ切っていないか、見直すことも必要です。株式市場も然りです。この一年は振り返ってみれば、世界中の金融市場が低金利に甘え、緩みが生じてしまっていたのでしょうか。運用する私たちも、市場の神様から喝が入ったと思って身を引き締めてまいります。今後もよろしく願いいたします。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
7期(2011年8月31日)	円 7,940	円 0	% △0.9	% 86.1	% —	百万円 7,105
8期(2012年8月31日)	8,146	0	2.6	83.1	7.6	7,681
9期(2013年9月2日)	11,647	0	43.0	82.2	9.8	10,261
10期(2014年9月1日)	13,818	0	18.6	82.7	12.0	10,825
11期(2015年8月31日)	15,772	0	14.1	59.6	22.1	11,337

(注1)基準価額は1万口当り。騰落率は前期比。組入比率は対純資産比。

(注2)当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク(参考指数)が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

(注3)期中騰落率、組入比率は小数第二位を四捨五入。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準 価額	騰落 率	投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
(期首)	円	%	%	%
2014年9月1日	13,818	—	82.7	12.0
9月末	14,315	3.6	83.3	12.0
10月末	13,950	1.0	82.9	12.3
11月末	15,260	10.4	84.3	12.9
12月末	15,506	12.2	77.4	13.2
2015年1月末	15,217	10.1	77.5	12.6
2月末	15,968	15.6	72.5	12.8
3月末	16,133	16.8	75.6	12.8
4月末	16,637	20.4	75.2	12.7
5月末	17,107	23.8	73.8	12.9
6月末	16,784	21.5	68.7	12.8
7月末	16,740	21.1	63.0	20.5
(期末)				
2015年8月31日	15,772	14.1	59.6	22.1

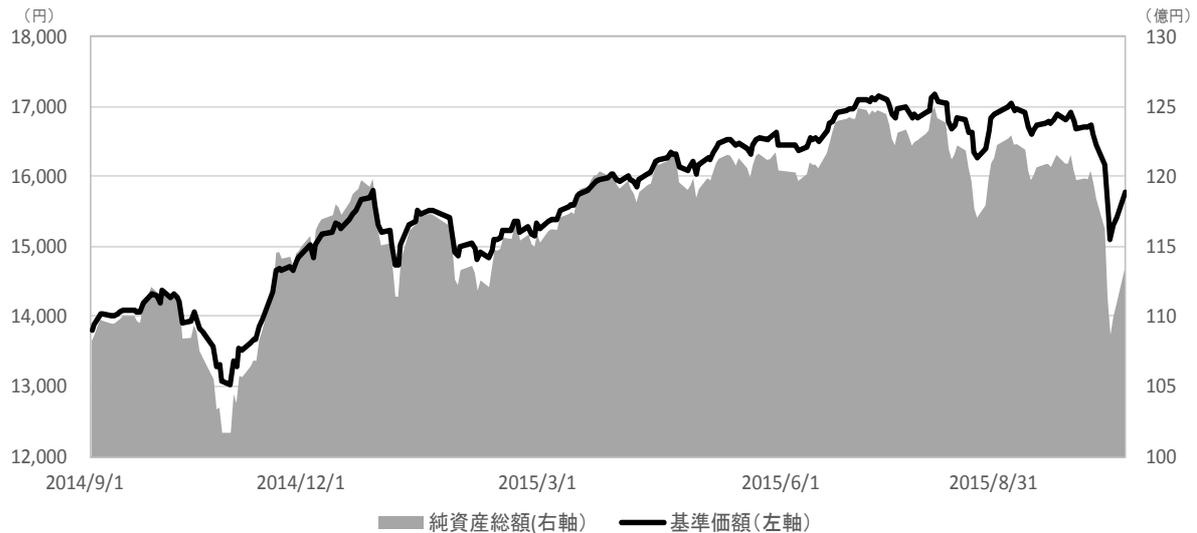
(注1)基準価額は1万口当り。騰落率は期首比。組入比率は対純資産比。

(注2)当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク(参考指数)が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

(注3)期中騰落率、組入比率は小数第二位を四捨五入。

## 運用経過のご説明

○当期中の基準価額等の推移【2014年9月2日～2015年8月31日】



期首	期中高値	期中安値	期末	騰落率
2014年9月1日	2015年6月25日	2014年10月20日	2015年8月31日	14.1%
13,818円	17,165円	13,026円	15,772円	

(注1)当ファンドにベンチマークはありません。(注2)上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

当期は、投資先ファンドがニッポンコムジェスト・エマージング・マーケット・ファンドを除いてすべて上昇し、基準価額の上昇に寄与しました。日本株市場は特に堅調で、主に日本株に投資するファンドは、期中に全解約したトヨタグループ株式ファンド、さわかみファンドを含め、プラス要因となりました。

米国株市場は指数が小幅のマイナスで終わりましたが、ドル高が進んだため、プラス要因となりました。

欧州株は指数が小幅のプラス、為替が小幅のマイナスでしたが、組入れファンドの銘柄選択効果で市場を大きく上回り、プラス要因となりました。

新興国株市場は下落し、新興国に投資する組入れファンドもマイナス要因となりましたが、銘柄選択の効果で、市場よりも小幅の下げにとどまりました。

## ○当ファンドの運用経過

当期は、極端な割安とは言えなくなった日本株の比率を徐々に減らし、一層の国際分散投資を進めました。2014 年末にかけては、高値更新に伴う解約もあり、さわかみ、社会貢献、TMA、コムジェストエマーシング、ハリス、各ファンドの一部を売却して現金比率を高めました。2015 年 2 月には、コモンズ 30 ファンドを全解約いたしました。組み入れ当初とは運用体制が変わり、前期中に投資比率を半減しておりましたが、再検討の末、ありがとうファンドの運用方針とのずれを埋めることが出来ず、売却の決定をいたしました。続いて 3 月にはトヨタグループ株式ファンドを一部売却、同時にコムジェストのヨーロッパ・ファンドとエマーシング・ファンドを買い増しました。

6 月に入りトヨタグループ株式ファンドを、8 月にはさわかみファンドを、全て解約いたしました。ありがとうファンド全体として、ボトムアップによる運用スタイルをより明確にする方針に決定し、そのため組み入れファンドを絞り込んだことが、解約の理由です。7 月には新規組み入れファンドとして、キャピタル社のエマーシング・マーケット・トータル・オポチュニティーズを買い付けました。ファンドの入れ替えに伴い、社会貢献ファンド、TMA 長期投資ファンド、US グロース・アンド・インカムファンドを少しずつ買い増しました。

これらの結果、主に日本株に投資するファンドは、前期末の 5 本から、社会貢献ファンドとTMA長期投資ファンドの 2 本となり、5 割弱あった日本株の比率も 3 割程度となっています。一方、新規ファンドを加えた新興国株は、7%強から約 15%に比率を上げています。先進国株の比率は数%程度の増加となりました。現金比率は上昇し、期末時点で組み入れファンド保有分も含め約 2 割となっています。

## (参考情報)前期末とのファンド組入比率の比較

ファンド名	10 期末組入比率	当期末組入比率
TMA長期投資ファンド	17.1%	18.4%
社会貢献ファンド	16.3%	17.5%
さわかみファンド	12.7%	—
キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンド	12.0%	15.3%
ニッポンコムジェスト・エマーシングマーケット・ファンド	8.3%	7.8%
トヨタグループ株式ファンド	8.1%	—
ALAMCO ハリス グローバル バリュー株ファンド	8.0%	6.8%
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド	6.5%	9.1%
コモンズ 30 ファンド	5.7%	—
キャピタル・グループ・エマーシング・マーケット・トータル・オポチュニティーズ	—	6.8%
組入ファンド数	9	7

(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。(注2)小数点以下第 2 位を四捨五入しております。

(注3)ファンドの正式名称は交付目論見書をご参照ください。(注4)キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンドはクラスXからクラスZにクラス替えしております。

## ○投資環境（2014年9月～2015年8月）

今期の世界の株式市況は、2014年10月の短い調整後、2015年の年央までは総じて堅調でした。

2014年10月ごろから原油価格の急落が始まり、4か月足らずの間に約半分になりました。その他の資源価格も総じて安くなり、世界的な低インフレ、低金利の素地となっています。

ヨーロッパでは、1月のギリシャの総選挙で財政緊縮反対派が勝利したことをきっかけに、債務危機が再燃し、ECB(欧州中央銀行)は思い切った量的金融緩和策に踏み切ることを決断しました。これを受けて欧州株は上昇し、為替市場はドル高基調となりました。その後、欧州経済は金融緩和の効果もあり、緩やかな回復を示していますが、デフレ懸念が払しょくされるには至っていません。

米国は、原油価格の下落でエネルギー産業が停滞し、2015年に入っては天候要因などもあって景気が一旦減速しました。一方消費や住宅市場は好調で、雇用も改善を続け、その後の景気は堅調を保っています。しかしドル高と原油の急落は企業収益の足かせとなり、株価は横ばいの状態が続きました。FRB(米連邦準備制度理事会)は、2015年内の金利引き上げを示唆しながら時期は明言せず、雇用状況の改善が十分でないことを理由に、引き上げには至りませんでした。

日本では、昨年4月の消費税率引き上げ後景気動向が思わしくなかったことから、10月末に追加金融緩和が行われました。更に消費増税の先送りが決まり、公的資金による株式買い入れも、株価には追い風となりました。景気の足取りは力強さには欠けますが、円安の効果もあり、企業収益は全般に好調に推移しています。

新興国では中国株が、11月の金融緩和を契機に急上昇し、6月半ばまで続きました。しかしその後は急落を繰り返し、昨秋以降の上昇分は七割がた失われています。その他の新興国は、米国の金利引上げ懸念や資源安が重石となり、株価は概ね下げ基調で推移しました。

8月下旬に至り、中国で人民元の切り下げや大規模な爆発事故を契機に再び株価が急落し、世界同時株安が起きました。期末時点では、不安心理を映してボラティリティーの高い状態が続いています。

## ○今後の運用方針

当ファンドは、リスクを抑えながら資産の長期的な成長を目指し、株式中心の投資方針を続けてまいります。円資産の比率を高めに維持しつつ国際的な分散投資を図ること、また丹念な企業調査に基づく保守的な運用スタイルのファンドを選別し組み入れていくことで、リスクを抑制いたします。

厚めの現金比率は、市場の状況を見ながら低下させていく方針です。日本株および他の先進国株のファンドを買い増す方向で、新規ファンドの組み入れを視野に入れ、調査・検討を進めています。今後も、個別企業調査に基づいて企業価値に投資する優秀なファンドを厳選し、運用してまいります。

## ○分配金

基準価額の水準、市況動向等の諸々の状況を勘案し、前期に引き続き分配無しとさせて頂きました。なお、分配にあてず信託財産内に留保した利益につきましては、運用方針に基づいて運用致します。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

第11期 (2014年9月2日～2015年8月31日)	
当期分配金 (対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,133

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期の分配金と一致しない場合があります

## 1 万口当たりの費用明細

(2014年9月2日～2015年8月31日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a)信託報酬	152 円	0.969%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は 15,690 円です。
(投信会社)	(74)	(0.474)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(61)	(0.388)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(17)	(0.108)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
合計	152	0.969	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目の費用は当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入しています。

## 当期中の売買および取引の状況

[投資信託受益証券]

(2014年9月2日～2015年8月31日)

	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内		千口	千円	千口	千円
	ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ	112,352	200,000	—	—
	ニッポンコムジェスト・エマージング	127,878	200,000	129,651	200,000
	社会貢献ファンド	70,000	129,668	130,000	208,351
	TMA長期投資ファンド	64,952	120,000	125,093	200,000
	さわかみファンド	—	—	758,000	1,713,122
	トヨタグループ株式ファンドF	—	—	443,960	1,091,192
	コモンズ30ファンド	—	—	398,398	723,346
	ハリスグローバルバリュー株ファンド	—	—	130,000	174,174
	合計	375,183	649,668	2,115,104	4,310,186

(注1)金額は受け渡し代金です。(注2)単位未満は切り捨てです。

[投資証券]

(2014年9月2日～2015年8月31日)

	銘柄	買付		売付		
		口数	金額	口数	金額	
外国	ルクセンブルグ	キャピタル・グループUSグロース& インカム クラスZ	千口 561	千円 1,898,643	千口 —	千円 —
		キャピタル・グループEMTータル オポチュニティーズ クラスX	594	850,000	—	—
		キャピタル・グループUSグロース& インカム クラスX	—	—	474	1,598,643
	合計	1,155	2,748,643	474	1,598,643	

(注1)金額は受け渡し代金です。(注2)単位未満は切り捨てです。

**利害関係人との取引状況**

(2014年9月2日～2015年8月31日)

期中における当ファンドにかかる利害関係人との取引はありません。

(注)利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

**第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況**

当期における自己取引はありません。

**自社による当ファンドの設定・解約状況**

該当事項はありません。

**組入資産の明細**

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた投資対象ファンドの明細

[投資信託受益証券]

ファンド名	期首(前期末)	当期末(2015年8月31日現在)			
	単位数又は口数	単位数又は口数	評価額	比率	
	千口	千口	千円	%	
TMA長期投資ファンド	1,274,851	1,214,710	2,087,114	18.4	
社会貢献ファンド	1,181,542	1,121,542	1,986,701	17.5	
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ	460,662	573,015	1,032,916	9.1	
ニッポンコムジェスト・エマージング	623,389	621,615	884,062	7.8	
ハリスグローバルバリュー株ファンド	731,290	643,998	767,002	6.8	
さわかみファンド	758,000	—	—	—	
トヨタグループ株式ファンド	493,960	—	—	—	
コモンズ 30 ファンド	398,398	—	—	—	
合計	口数・金額	5,922,095	4,174,882	6,757,797	59.6
	銘柄数	8	5		

(注1)比率は純資産総額に対する評価額の比率。比率は四捨五入。(注2)単位未満は切り捨

## [投資証券]

ファンド名		期首(前期末)	当期末(2015年8月31日現在)		
		単位数又は口数	単位数又は口数	評価額	比率
ルクセンブルグ	キャピタル・グループ USグロース&インカム クラスZ	千口 —	千口 561	千円 1,733,616	% 15.3
	キャピタル・グループ EMTータルオポチュニティーズ クラスX	—	594	774,270	6.8
	キャピタル・グループ USグロース&インカム クラスX	474	—	—	—
合計	口数・金額	474	1,155	2,507,887	22.1
	銘柄数	1	2		

(注1)比率は純資産総額に対する評価額の比率。比率は四捨五入。(注2)単位未満は切り捨

## 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末 (2015年8月31日現在)	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 6,757,797	% 59.3
投資証券	2,507,887	22.0
コール・ローン等、その他	2,133,460	18.7
投資信託財産総額	11,399,144	100.0

(注1)金額の単位未満は切り捨てです。そのため、単純合計と表示が異なる場合があります。

(注2)比率は四捨五入してあります。

### 資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年8月31日現在)

項目	当期末	
(A) 資産	11,399,144,944 円	
コール・ローン等	2,133,460,273	
投資信託受益証券(評価額)	6,757,797,662	(注1)期首元本額 7,833,878,640円
投資証券(評価額)	2,507,887,009	期中追加設定元本額 541,857,299円
(B) 負債	61,780,025	期中一部解約元本額 1,187,638,309円
未払解約金	3,195,419	(注2)運用報告書作成日時点では、監査未了です。
未払信託報酬	58,584,606	(注3)計算期間の末日現在1口当たり純資産の額
(C) 純資産総額(A-B)	11,337,364,919	1.5772円
元本	7,188,097,630	
次期繰越損益金	4,149,267,289	
(D) 受益権総口数	7,188,097,630 口	
1万口当り基準価額(C/D)	15,772 円	

### 損益の状況 (2014年9月2日～2015年8月31日)

項目	当期末	
(A) 配当等収益	50,994,002 円	
受取配当金	50,857,064	
受取利息	136,938	(注1)(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(B) 有価証券売買損益	1,376,627,092	(注2)(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
売買益	1,827,631,420	
売買損	△451,004,328	
(C) 信託報酬等	△113,523,852	
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,314,097,242	(注3)(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(E) 前期繰越損益金	2,058,825,029	
(F) 追加信託差損益金	776,345,018	
(配当等相当額)	(1,036,116,901)	
(売買損益相当額)	(△259,771,883)	
(G) 計(D+E+F)	4,149,267,289	
(H) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(G+H)	4,149,267,289	
追加信託差損益金	776,345,018	
(配当等相当額)	(1,036,116,901)	
(売買損益相当額)	(△259,771,883)	
分配準備積立金	3,372,922,271	

## お知らせ《当期中の約款の変更》

当期中に実施した約款変更は以下の通りです。

- ①2014年12月1日の投資信託及び投資法人に関する法律の改正に伴い、運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供すること旨とする変更を行いました。
- ②2015年5月29日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更(信託約款の附則)  
当ファンドの運用投資方針に従い「追加型証券投資信託 キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンドクラスZ(ルクセンブルグ籍円建外国投資法人)」を新たな組入れ対象とし、「追加型証券投資信託 コモンズ30ファンド(適格機関投資家用)」を投資対象から外しました。
- ③2015年7月17日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更(信託約款の附則)  
当ファンドの運用投資方針に従い「追加型証券投資信託 キャピタル・グループ・エマージング・マーケット・トータル・オポチュニティーズ クラスX(ルクセンブルグ籍円建外国投資法人)」を新たな組入れ対象とし、「追加型証券投資信託 トヨタグループ株式ファンドF(適格機関投資家専用私募)」及び「追加型証券投資信託 キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンドクラスX(ルクセンブルグ籍円建外国投資法人)」を投資対象から外しました。

### 《復興特別所得税のお知らせ》

2014年1月1日から普通分配金並びに解約時または償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されています。

## 【指定投資信託証券の運用内容】

『ありがとうファンド』は、主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替えを大前提とします。厳しい基準に基づいて選択されたファンドを活用し、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。運用成果については、特定のベンチマークを設けることはしません。短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

組入れファンドの選択に当っては、ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視し、ファンド・オブ・ファンズのパフォーマンスへの寄与を明確にします。選択の基準としては、運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件とします。組入れファンドの運用内容のチェックとして、基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかどうか重要な判断基準とします。

以降、各ファンドの直近の決算状況を各ファンドからのデータ提供をもとに掲載しております。

## 《社会貢献ファンド(適格機関投資家専用)》

第10期(決算日:2014年9月22日) 計算期間:2013年9月21日~2014年9月22日

## ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項目	金額
(a)信託報酬	122円
(投信会社)	(107)
(販売会社)	(3)
(受託会社)	(12)
(b)売買委託手数料	17
(c)保管費用等	1
合計	140

(注)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です(項目ごとに円未満は四捨五入しています。)

- (a)信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率  
 (b)売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数  
 (c)保管費用等 = 期中の保管費用等 / 期中の平均受益権口数

なお、売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

## ■組入資産の明細

## ●親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ALAMCO 社会貢献マザーファンド	千口 1,190,436	千口 1,075,822	千円 1,793,288

(注) 親投資信託の当期末の受益権総口数は、4,085,492千口です。

## ●ALAMCO 社会貢献マザーファンド組入上位 10 銘柄(2014 年 9 月 22 日現在)

	銘柄名	投資比率(%)
1	イーグル工業	4.54
2	三菱鉛筆	4.31
3	サトーホールディングス	4.27
4	ダイセキ	4.25
5	太陽ホールディングス	4.11
6	アークランドサービス	3.99
7	リンナイ	3.96
8	オムロン	3.94
9	トヨタ自動車	3.92
10	ナカニシ	3.89
	組入銘柄数	32 銘柄

(注)構成比は現物株式ポートフォリオに占める比率です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,809,756,413円
コール・ローン等	16,467,998
ALAMCO社会貢献マザーファンド(評価額)	1,793,288,406
未 収 利 息	9
(B) 負 債	7,478,650
未 払 信 託 報 酬	7,432,259
そ の 他 未 払 費 用	46,391
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,802,277,763
元 本	1,181,542,949
次 期 繰 越 損 益 金	620,734,814
(D) 受 益 権 総 口 数	1,181,542,949口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,254円

(注) 期首元本額は1,301,542,949 円、期中追加設定元本額は一円、期中一部解約元本額は120,000,000円です。

## ■損益の状況

項 目	当 期
(A) 配当等収益	5,181 円
受取利息	5,181
(B) 有価証券売買損益	241,650,266
売買益	246,087,813
売買損	△4,437,547
(C) 信託報酬等	△14,551,281
(D) 当期損益金 (A+B+C)	227,104,166
(E) 前期繰越損益金	181,957,522
(F) 追加信託差損益金	211,673,126
(配当等相当額)	(125,951,308)
(売買損益相当額)	(85,721,818)
(G) 計 (D+E+F)	620,734,814
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G+H)	620,734,814
追加信託差損益金	211,673,126
(配当等相当額)	(125,951,308)
(売買損益相当額)	(85,721,818)
分配準備積立金	409,061,688

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(28,723,261円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(198,380,905円)、信託約款に規定する収益調整金(211,673,126円)および分配準備積立金(181,957,522円)より分配可能額は620,734,814円(10,000 口当たり5,253円)ですが、当期は分配を行いませんでした。

## 《TMA長期投資ファンド〈適格機関投資家限定〉》

第8期（決算日:2015年5月15日）計算期間:2014年5月16日～2015年5月15日

## ■1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項目	金額	比率
(a)信託報酬	81円	0.513%
（投信会社）	(68)	(0.432)
（販売会社）	(5)	(0.032)
（受託会社）	(8)	(0.049)
(b)売買委託手数料	11	0.072
(c)有価証券取引税	3	0.022
(d)その他費用	2	0.016
（保管費用）	(1)	(0.007)
（監査費用）	(1)	(0.009)
合計	97	0.623
平均基準価額	15,758円	

(注1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2)各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注3)売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## ■組入資産の明細

## ●親投資信託残高

種類	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
東京海上長期投資マザーファンド	千口 2,131,828	千口 2,254,876	千円 4,230,148

## ●東京海上長期投資マザーファンド株式組入上位10銘柄（2015年5月15日現在）

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	キーエンス	円	日本	4.2
2	リンナイ	円	日本	3.3
3	エア・ウォーター	円	日本	3.1
4	INTERTEK GROUP PLC	英ポンド	イギリス	3.0
5	ミスミグループ本社	円	日本	3.0
6	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク・クローネ	デンマーク	2.9
7	ファナック	円	日本	2.8
8	NESTLE SA-REGISTERED	スイス・フラン	スイス	2.7
9	日揮	円	日本	2.6
10	エムスリー	円	日本	2.6
組入銘柄数			37銘柄	

(注)組入比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	当期末
(A) 資産	4,240,339,346円
東京海上長期投資マザーファンド(評価額)	4,230,148,368
未収入金	10,190,978
(B) 負債	10,190,978
未払信託報酬	10,028,978
その他未払費用	162,000
(C) 純資産総額(A-B)	4,230,148,368
元本	2,340,433,364
次期繰越損益金	1,889,715,004
(D) 受益権総口数	2,340,433,364口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,074円

(注1)当ファンドの期首元本額は2,202,045,267円、  
期中追加設定元本額は314,401,336円、  
期中一部解約元本額は176,013,239円です。  
(注2)当期末の1口当たり純資産額は1.8074円です。

## ■損益の状況

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	1,045,784,697 円
売 買 益	1,091,102,272
売 買 損	△45,317,575
(B) 信託報酬等	△18,917,401
(C) 当期損益金(A+B)	1,026,867,296
(D) 前期繰越損益金	963,190,734
(E) 追加信託差損益金	△100,343,026
(配当等相当額)	(330,948,999)
(売買損益相当額)	(△431,292,025)
(F) 計(C+D+E)	1,889,715,004
次期繰越損益金(F)	1,889,715,004
追加信託差損益金	△100,343,026
(配当等相当額)	(331,312,987)
(売買損益相当額)	(△431,656,013)
分配準備積立金	1,990,058,030

(注1)(A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。  
(注2)(B)信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注3)(E)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。  
(注4)計算期間末における費用控除後の配当等収益(40,037,869円)、費用控除後の有価証券等損益額(986,829,427円)、信託約款に規定する収益調整金(331,312,987円)および分配準備積立金(963,190,734円)より分配対象収益は2,321,371,017円(1万口当たり9,918円)でしたが、当期に分配した金額はありません。

## ■株式 国別構成比率 (2015年5月15日現在)

資産	国名	構成比率
株式	日本	51.1%
	アメリカ	15.4
	デンマーク	4.9
	イギリス	4.6
	スイス	2.7
	フランス	2.6
	香港	2.1

(注)構成比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。

## 《ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)》

第7期(決算日:2014年12月25日) 計算期間:2013年12月26日~2014年12月25日

## ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項目	金額	比率
(a)信託報酬	167円	1.08%
(投信会社)	(100)	(0.649)
(販売会社)	(50)	(0.323)
(受託会社)	(17)	(0.108)
(b)売買委託手数料	13	0.082
(c)有価証券取引税	8	0.049
(d)その他費用	14	0.088
(保管費用)	(12)	(0.076)
(監査費用)	(2)	(0.011)
(その他)	(0)	(0.001)
合計	202	1.299
平均基準価額	15,475円	

(注1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2)消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3)売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ■組入資産の明細

## ●親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド	千口 2,456,797	千口 3,417,029	千円 6,343,032

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ●ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド組入上位10銘柄(2014年12月25日現在)

	銘柄名	国	業種	投資比率(%)
1	INDITEX	スペイン	一般消費財・サービス	6.1
2	ESSILOR INTERNATIONAL	フランス	ヘルスケア	5.2
3	BAYER AG-REG	ドイツ	ヘルスケア	4.0
4	ARM HOLDINGS PLC	イギリス	情報技術	4.0
5	CAPITA PLC	イギリス	資本財・サービス	4.0
6	SARTORIUS STEDIM BIOTECH	フランス	ヘルスケア	3.9
7	L'OREAL	フランス	生活必需品	3.9
8	HENNES & MAURITZ AB-B SHS	スウェーデン	一般消費財・サービス	3.7
9	ZODIAC AEROSPACE	フランス	資本財・サービス	3.6
10	SODEXO	フランス	一般消費財・サービス	3.4
組入銘柄数			34銘柄	

※国および主たる事業の区分は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

※比率は純資産総額に対する評価額の割合

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	当期末
(A) 資産	6,372,349,203円
コール・ローン等	29,316,569
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド(評価額)	6,343,032,618
未収利息	16
(B) 負債	28,468,128
未払信託報酬	28,198,128
その他未払費用	270,000
(C) 純資産総額(A-B)	6,343,881,075
元本	3,656,606,788
次期繰越損益金	2,687,274,287
(D) 受益権総口数	3,656,606,788口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,349円

(注1)当ファンドの期首元本額は2,601,248,395円、期中追加設定元本額は1,086,329,752円、期中一部解約元本額は30,971,359円です。

(注2)また、1口当たり純資産額は17,349円です。

## ■損益の状況

項目	当期
(A) 配当等収益	2,895円
受取利息	2,895
(B) 有価証券売買損益	828,199,371
売買益	830,497,539
売買損	△2,298,168
(C) 信託報酬等	△51,376,236
(D) 当期損益金(A+B+C)	776,826,030
(E) 前期繰越損益金	1,845,430,643
(F) 追加信託差損益金	65,017,614
(配当等相当額)	(903,325,024)
(売買損益相当額)	(△838,307,410)
(G) 合計(D+E+F)	2,687,274,287
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	2,687,274,287
追加信託差損益金	65,017,614
(配当等相当額)	(904,793,411)
(売買損益相当額)	(△839,775,797)
分配準備積立金	2,622,256,673

(注1)損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2)損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3)損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4)計算期間末における費用控除後の配当等収益(60,954,130円)、費用控除後の有価証券等損益額(715,871,900円)、信託約款に規定する収益調整金(904,793,411円)および分配準備積立金(1,845,430,643円)より分配対象収益は3,527,050,084円(10,000口当たり9,645円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## 《ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)》

第7期(決算日:2014年12月25日) 計算期間:2013年12月26日~2014年12月25日

## ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項目	金額	比率
(a)信託報酬	146円	1.08%
(投信会社)	(87)	(0.65)
(販売会社)	(44)	(0.322)
(受託会社)	(15)	(0.108)
(b)売買委託手数料	16	0.119
(c)有価証券取引税	5	0.034
(d)その他費用	29	0.215
(保管費用)	(22)	(0.165)
(監査費用)	(1)	(0.011)
(その他)	(5)	(0.039)
合計	196	1.448
平均基準価額	13,556円	

(注1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2)消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3)売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ■組入資産の明細

## ●親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	千口 3,028,977	千口 3,545,816	千円 5,816,912

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ●ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットマザーファンド組入上位10銘柄(2014年12月25日現在)

	銘柄名	国	業種	投資比率(%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	台湾	情報技術	6.9
2	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	中国	金融	6.4
3	CHINA MOBILE LTD	中国	電気通信サービス	5.1
4	INFOSYS LTD-SP ADR	インド	情報技術	4.5
5	MTN GROUP LTD	南アフリカ	電気通信サービス	4.4
6	SANLAM LTD	南アフリカ	金融	3.5
7	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド	公益事業	3.4
8	HUTCHISON WHAMPOA LIMITED	香港	資本財・サービス	3.4
9	NETEASE INC ADR	中国	情報技術	3.1
10	MEDIATEK INC	台湾	情報技術	2.9
	組入銘柄数		38銘柄	

※国の別は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

※比率は純資産総額に対する評価額の割合

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	当期末
(A) 資産	5,847,173,994円
コール・ローン等	30,261,613
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットリザーブファンド(評価額)	5,816,912,365
未収利息	16
(B) 負債	29,495,540
未払信託報酬	29,225,540
その他未払費用	270,000
(C) 純資産総額(A-B)	5,817,678,454
元本	3,792,083,300
次期繰越損益金	2,025,595,154
(D) 受益権総口数	3,792,083,300口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,342円

(注1)当ファンドの期首元本額は3,204,843,469円、期中追加設定元本額は780,318,907円、期中一部解約元本額は193,079,076円です。

(注2)また、1口当たり純資産額は1,5342円です

## ■損益の状況

項目	当期
(A) 配当等収益	3,043円
受取利息	3,043
(B) 有価証券売買損益	931,437,899
売買益	974,664,640
売買損	△43,226,741
(C) 信託報酬等	△53,322,744
(D) 当期損益金(A+B+C)	878,118,198
(E) 前期繰越損益金	1,214,433,653
(F) 追加信託差損益金	△66,956,697
(配当等相当額)	(632,294,091)
(売買損益相当額)	(△699,250,788)
(G) 合計(D+E+F)	2,025,595,154
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	2,025,595,154
追加信託差損益金	△66,956,697
(配当等相当額)	(633,451,425)
(売買損益相当額)	(△700,408,122)
分配準備積立金	2,092,551,851

(注2)損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3)損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4)計算期間末における費用控除後の配当等収益(92,678,792円)、費用控除後の有価証券等損益額(785,439,406円)、信託約款に規定する収益調整金(633,451,425円)および分配準備積立金(1,214,433,653円)より分配対象収益は2,726,003,276円(10,000口当たり7,188円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## 《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007(適格機関投資家専用)》

第8期(決算日:2015年3月9日) 計算期間:2014年3月11日~2015年3月9日

## ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項目	金額	比率
(a)信託報酬	172円	1.40%
(投信会社)	(132)	(1.078)
(販売会社)	(29)	(0.236)
(受託会社)	(11)	(0.086)
(b)売買委託手数料	6	0.051
(c)有価証券取引税	4	0.033
(d)その他費用	9	0.070
(保管費用)	(8)	(0.062)
(監査費用)	(1)	(0.005)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	191	1.554
平均基準価額	12,292円	

(注1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3)売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたも

## ■組入資産の明細

## ●親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株マザーファンド	千口 1,576,520	千口 2,221,858	千円 3,772,271

(注) 親投資信託の当期末の受益権総口数は14,309,678千口です。

## ●ALAMCO ハリスグローバルバリュース株マザーファンド組入上位10銘柄(2015年3月9日現在)

	銘柄名	投資比率(%)
1	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	4.50
2	GENERAL MOTORS CO	4.39
3	GLENCORE PLC	4.31
4	INTEL CORP	4.14
5	BNP PARIBAS	4.12
6	JULIUS BAER GROUP LTD	3.96
7	WELLS FARGO & CO	3.96
8	CNH INDUSTRIAL NV	3.92
9	CIE FINANCIERE RICHEMON-REG	3.79
10	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	3.78
	組入銘柄数	36銘柄

(注) 組入比率は現物株式ポートフォリオに占める比率です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	当期末
(A) 資産	4,080,982,153円
コーラル・ローン等	308,710,584
ALAMCOハリスグローバル バリュー株マザーファンド(評価額)	3,772,271,485
未収利息	84
(B) 負債	291,414,953
未払収益分配金	269,163,771
未払信託報酬	22,165,988
その他未払費用	85,194
(C) 純資産総額(A-B)	3,789,567,200
元本	2,990,708,567
次期繰越損益金	798,858,633
(D) 受益権総口数	2,990,708,567口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,671円

(注)期首元本額は1,933,555,022円、期中追加設定元本額は1,285,453,946円、  
期中一部解約元本額は228,300,401円です。

## ■損益の状況

項目	当期
(A) 配当等収益	3,595
受取利息	3,595
(B) 有価証券売買損益	515,974,728
売買益	545,637,024
売買損	△29,662,296
(C) 信託報酬等	△39,516,218
(D) 当期損益金(A+B+C)	476,462,105
(E) 前期繰越損益金	430,180,763
(F) 追加信託差損益金	161,379,536
(配当等相当額)	(676,299,117)
(売買損益相当額)	(△514,919,581)
(G) 計(D+E+F)	1,068,022,404
(H) 収益分配金	△269,163,771
次期繰越損益金(G+H)	798,858,633
追加信託差損益金	△161,379,536
(配当等相当額)	(677,580,247)
(売買損益相当額)	(△516,200,711)
分配準備積立金	637,479,097

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託する場合における当該委託に要する費用は18,183,707円となります。

(注5) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(46,538,038円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(429,924,067円)、信託約款に規定する収益調整金(677,580,247円)および分配準備積立金(430,180,763円)より分配可能額は1,584,223,115円(10,000口当たり5,297円)であり、うち269,163,771円(10,000口当たり900円)を分配金額としています。

## 《キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンド（ルクセンブルグ籍円建外国投資法人）》

(決算日:2014年12月31日) 計算期間:2014年1月1日~2014年12月31日

※表示は基準通貨 (Base Currency) のユーロ (EUR) 建です。

## ■構成比率

	%
Shares	
United States	83.11
United Kingdom	2.27
Other	4.98
Total shares	90.36
Total mutual fund	7.32
Cash at bank and other net assets	2.32
Total	100.00

## ■セクター別構成比率

	%
Health care	18.2
Information technology	17.3
Consumer discretionary	14.0
Energy	10.1
Consumer staples	9.1
Financials	7.5
Telecommunication services	5.7
Industrials	3.7
Utilities	3.2
Materials	1.6
Other	7.3
Cash and equivalents	2.3

## ■資産、負債、純資産の状況

<b>Assets</b>	
Investments at market value	350,592,679
Cash at bank	10,917,461
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	386,406
Receivable for investments sold	70,606
Receivable for fund shares subscribed	1,207,573
Prepaid expenses and other receivables	64,217
<b>Total assets</b>	<b>363,238,942</b>
<b>Liabilities</b>	
Payable for investments purchased	3,707,992
Payable for fund shares redeemed	169,006
Unrealised loss on hedged share class forward foreign exchange contracts	40,289
Accrued expenses and other payables	140,257
Management fee payable	254,956
<b>Total liabilities</b>	<b>4,312,500</b>
<b>Total net assets</b>	<b>358,926,442</b>
<b>Investment securities at cost</b>	<b>261,924,047</b>

## ■ 損益の状況

<b>Income</b>	
Dividend income (net of withholding taxes)	5,100,469
Interest on bonds and convertible bonds (net of withholding taxes)	5,702
Interest on bank accounts	25
	<b>5,106,196</b>
<b>Expenses</b>	
Management fees	2,316,543
Administrative Manager services	273,166
Professional services	170,789
Taxe d'abonnement	123,518
Custody	43,829
Other	33,444
Printing and publishing	33,781
	<b>2,995,070</b>
Reimbursement of expenses	50,863
<b>Net investment income/(loss) (a)</b>	<b>2,161,989</b>
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	35,447,443
Foreign currency transactions	(663,184)
<b>Net realised profit/(loss) for the year (b)</b>	<b>34,784,259</b>
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	37,200,530
Foreign currency transactions	(89,797)
<b>Net change in unrealised appreciation/(depreciation) for the year (c)</b>	<b>37,110,733</b>
<b>Result of operations for the year (a+b+c)</b>	<b>74,056,981</b>
<b>Dividend distribution</b>	<b>(1,782,298)</b>
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the year	36,762,264
Total net assets at the beginning of the year	249,889,495
<b>Total net assets at the end of the year</b>	<b>358,926,442</b>

## 《キャピタル・グループ・エマージングマーケット・トータル・オポチュニティーズ（ルクセンブルグ籍円建外国投資法人）》

(決算日:2015年3月31日) 計算期間:2014年4月1日~2015年3月31日

※表示は基準通貨 (Base Currency) のUSドル建です。

## ■資産、負債、純資産の状況

<b>Assets</b>	
Investments at market value	2,796,343,918
Cash at bank	171,598,166
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	15,587,038
Receivable for investments sold	10,223,150
Receivable for fund shares subscribed	7,011,300
Prepaid expenses and other receivables	731,079
Unrealised gain on hedged share class forward foreign exchange contracts	8,348,729
Unrealised gain on forward foreign exchange contracts	4,907,035
Receivable for foreign taxes	14,582
<b>Total assets</b>	<b>3,014,764,997</b>
<b>Liabilities</b>	
Payable for investments purchased	9,832,184
Payable for fund shares redeemed	1,287,386
Accrued expenses and other payables	1,127,199
Management fee payable	2,119,278
Payable for closed forward foreign exchange contracts	80,839
<b>Total liabilities</b>	<b>14,446,886</b>
<b>Total net assets</b>	<b>3,000,318,111</b>
<b>Investment securities at cost</b>	<b>2,895,279,578</b>

## ■ 損益の状況

<b>Income</b>	
Interest on bonds and convertible bonds (net of withholding taxes)	54,473,105
Dividend income (net of withholding taxes)	35,991,712
Interest on bank accounts	1,429
	<b>90,466,246</b>
<b>Expenses</b>	
Management fees	22,861,770
Administrative Manager services	688,185
Professional services	862,058
Taxe d'abonnement	418,771
Custody	1,287,134
Other	256,007
Printing and publishing	114,218
	<b>26,488,143</b>
Reimbursement of expenses	624,154
<b>Net investment income/(loss) (a)</b>	<b>64,602,257</b>
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	(61,689,422)
Foreign currency transactions	(41,453,577)
<b>Net realised profit/(loss) for the year (b)</b>	<b>(103,142,999)</b>
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	(165,897,225)
Foreign currency transactions	10,323,601
Foreign tax provision	14,582
<b>Net change in unrealised appreciation/(depreciation) for the year (c)</b>	<b>(155,559,042)</b>
<b>Result of operations for the year (a+b+c)</b>	<b>(194,099,784)</b>
<b>Dividend distribution</b>	<b>(10,923,686)</b>
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the year	619,894,684
Total net assets at the beginning of the year	2,585,446,897
<b>Total net assets at the end of the year</b>	<b>3,000,318,111</b>

《さわかみファンド》 第16期 (決算日:2015年8月24日) 計算期間:2014年8月26日~2015年8月24日

■1万口 (元本 10,000円) 当たりの費用の明細

(2014/8/26~2015/8/24)

項目	金額	比率
(a)信託報酬	228	1.077%
(投信会社)	(125)	(0.592)
(販売会社)	(80)	(0.377)
(受託会社)	(23)	(0.108)
(b)売買委託手数料	2	0.012
(c)その他費用	2	0.01
(その他)	(2)	(0.01)
合計	232	1.099
平均基準価額	21,136円	

(注1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 (注2)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
 (注3)比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数点第3位未満を四捨五入して表示しております。  
 (注4)組入上位10銘柄の投資比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■組入上位10銘柄

	銘柄名	投資比率(%)
1	トヨタ自動車	4.25
2	ブリヂストン	4.20
3	日本電産	3.04
4	花王	2.99
5	TOTO	2.78
6	国際石油開発帝石	2.54
7	三菱重工業	2.48
8	デンソー	2.43
9	日本特殊陶業	2.39
10	ダイキン工業	2.29
	組入銘柄数	108銘柄

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	当期末
(A) 資産	285,160,696,775円
コール・ローン等	34,178,783,038
株式(評価額)	248,240,393,480
未収入金	2,273,233,217
未収配当金	468,287,040
(B) 負債	984,922,954
未払解約金	121,788,082
未払信託報酬	863,134,872
(C) 純資産総額(A-B)	284,175,773,821
元本	137,846,693,921
次期繰越損益金	146,329,079,900
(D) 受益権総口数	137,846,693,921口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,615円

(注1) 期首元本額 162,508,949,073円  
 期中追加設定元本額 7,996,027,434円  
 期中一部解約元本額 32,658,282,586円  
 (注2) 運用報告書作成日時点では、監査未了です。  
 (注3) 計算期間の末日における1口当たり純資産の額は2,0615円です。

■損益の状況

項目	当期
(A) 配当等収益	4,974,302,472円
受取配当金	4,696,794,255
受取利息	2,045,776
その他収益金	275,462,441
(B) 有価証券売買損益	27,030,558,232
売買益	43,436,117,399
売買損	△16,405,559,167
(C) 信託報酬等	△3,392,589,190
(D) 当期損益金(A+B+C)	28,612,271,514
(E) 前期繰越損益金	61,184,388,858
(F) 追加信託差損益金	56,532,419,528
(配当等相当額)	(89,975,667,880)
(売買損益相当額)	(△33,443,248,352)
(G) 合計(D+E+F)	146,329,079,900
(H) 収益分配金	-
次期繰越損益金(G+H)	146,329,079,900
追加信託差損益金	56,532,419,528
(配当等相当額)	(89,975,667,880)
(売買損益相当額)	(△33,443,248,352)
分配準備積立金	89,796,660,372
繰越損益金	0

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## 《トヨタグループ株式ファンドF(適格機関投資家専用私募)》

第12期(償還日:2015年6月29日) 計算期間:2014年11月14日~2015年6月29日

※2015年8月末日現在ありがとうファンドの投資対象ファンドではございません。

## ■1 万口当たりの費用明細

(2014/11/14~2015/6/29)

項目	金額	比率
(a)信託報酬	56円	0.243%
(投信会社)	(47)	(0.202)
(販売会社)	(3)	(0.014)
(受託会社)	(6)	(0.027)
(b)売買委託手数料	6	0.026
(c)その他費用	1	0.003
(監査費用)	(1)	(0.003)
合計	63	0.272
平均基準価額	23,109円	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■組入ファンド

当ファンドは、2015年6月29日に繰り上げ償還致しましたので償還日時点での組入れはありません。

## 《コモンス30ファンド(適格機関投資家用)》

第6期(決算日:2015年1月19日) 計算期間:2014年1月21日~2015年1月19日

※2015年8月末日現在ありがとうございますファンドの投資対象ファンドではございません。

## ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項目	金額	比率
(a)信託報酬	100円	0.646%
(投信会社)	(91)	(0.592)
(販売会社)	(2)	(0.011)
(受託会社)	(7)	(0.043)
(b)売買委託手数料	49	0.317
(c)その他費用	4	0.023
(監査費用)	(4)	(0.023)
合計	153	0.986
平均基準価額	15,459円	

(注1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2)消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注4)売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注5)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ■組入資産の明細

## ●親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
コモンス・サーティー・マザーファンド	千口 816,396	千口 282,120	千円 684,847

(注)口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ●コモンス・サーティー・マザーファンド組入上位10銘柄(2015年1月19日現在)

	銘柄名	投資比率(%)
1	エーザイ	3.8%
2	旭化成	3.6%
3	ディスコ	3.6%
4	ユニ・チャーム	3.6%
5	日東電工	3.5%
6	ヤマトホールディングス	3.5%
7	味の素	3.5%
8	資生堂	3.5%
9	本田技研工業	3.5%
10	シスメックス	3.5%
	組入銘柄数	29銘柄

(注)組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する比率。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	当期末
(A) 資産	684,847,062円
コモンス・サテイク・マザーファンド(評価額)	684,847,062
(B) 負債	1,201,743
未払信託報酬	1,093,743
その他未払費用	108,000
(C) 純資産総額(A-B)	683,645,319
元本	398,398,806
次期繰越損益金	285,246,513
(D) 受益権総口数	398,398,806口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,160円

(注1)当ファンドの期首元本額は1,147,165,199円、  
期中追加設定元本額は0円、  
期中一部解約元本額は748,766,393円です  
(注2)また、1口当たり純資産額は1.7160円です。

## ■損益の状況

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	93,213,841円
売買益	122,874,070
売買損	△29,660,229
(B) 信託報酬等	△6,132,396
(C) 当期損益金(A+B)	87,081,445
(D) 前期繰越損益金	183,356,811
(E) 追加信託差損益金	14,808,257
(配当等相当額)	(52,772,176)
(売買損益相当額)	(△37,963,919)
(F) 計(C+D+E)	285,246,513
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	285,246,513
追加信託差損益金	14,808,257
(配当等相当額)	(52,772,176)
(売買損益相当額)	(△37,963,919)
分配準備積立金	270,438,256

(注1) 損益の状況の中で(A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注3) 損益の状況の中で(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(11,063,884円)、費用控除後の有価証券等損益額(76,017,561円)、信託約款に規定する収益調整金(52,772,176円)および分配準備積立金(183,356,811円)より分配対象収益は323,210,432円(10,000口当たり8,112円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## 直接販売状況

2015年8月31日決算日現在 有効口座数(※)4,852口座 ※決算日現在残高のないお客様も含みます。

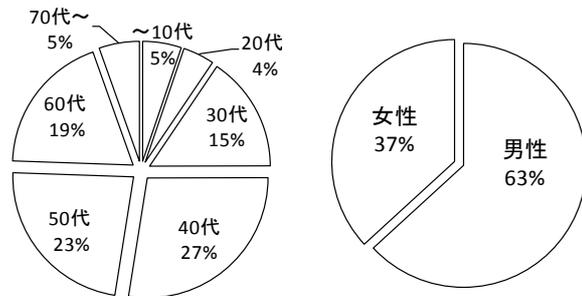
当期末現在で口座数が4,852口座(内法人26口座)となりました。一人当たりの平均保有残高は2,336千円です。当期間の新規口座開設件数は442口座でした。前期に引き続き、「本・新聞等を見て」や「家族・知人の紹介」を口座開設のきっかけとされる方が多くを占めております。一方、一定期間取引の無いお客様の口座閉鎖手続やファンドの売却と共に口座閉鎖手続きをされたことによる口座数減少は717口座となりました。

### ◆お客様の特徴

年代別では、40代のお客様が27%と最も多く、40代から60代のお客様が全体の約7割となっております。

### ◆ファンド設定・解約の状況

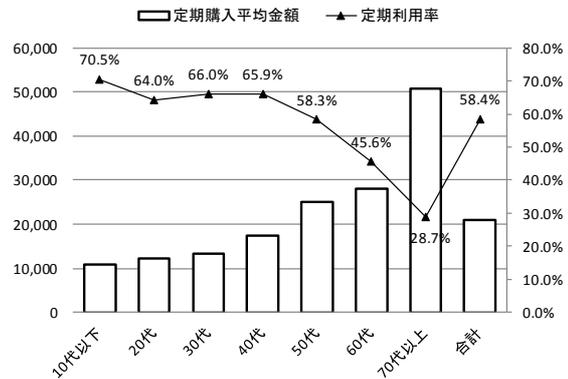
第11期においては、設定金額が843百万円、解約金額が1,871百万円となり、金額ベースで純流出となりました。主な要因としては、基準価額の上昇に伴って、保有利益が出ているお客様からの利益確定の売却が上げられます。一方で、ありがとうファンドの純資産額は組入ファンドの時価評価拡大が貢献し、期中平均117億円とファンド運用スタート以来最大となりました。



### ◆定期定額購入サービス

当サービスをご利用されているお客様の割合は58.4% (分母:有効口座数)。一人当たりの定期購入金額平均は21,014円でした。

相場の変動に踊らされないためにも、時間分散による継続投資を、お客様の年齢問わず推奨しております。インフレから資産を守る観点からも、長期継続投資は重要だと考えております。お客様のお好きなタイミングで購入する「スポット購入」と合わせ、「定期定額購入」サービスをどうぞご利用ください。



### ◆運用状況を随時お伝えしております。

毎月上旬発行の月次レポート以外にも、ファンドマネージャーが直接お客様とお会いしてファンドの運用状況をお伝えするセミナーと合わせ、ホームページ上では、動画による四半期運用報告を公開しております。引き続き、ファンドの運用状況を皆様にお伝えする場を積極的に用意して参ります。